

今月のよっしー

新年明けましておめでとうございます。

2015年に着任してから「地域での教育」に力を入れてきました。まだまだ改善が必要な部分が沢山ありますが、嬉しいニュースがありました。今年卒業予定の6年生に行った本学での医学教育についてのアンケートでは、この地域包括ケア実習について高い評価がありました。皆様のおかげです。

またもう一つの柱である専攻医教育についてはまだまだ改善の余地があり、指導医ならびに専攻医、関係者とも力を合わせてより良いものにしていく必要があります。

連携施設の拡充や指導医獲得活動も引き続き行っていきます。

本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「宮崎江南病院」

JCHO宮崎江南病院 副院長 松尾 剛志 先生

当院の従来のクリクラ実習は、医学生からある程度の評価はいただいていた。しかし、地域包括ケア実習の評価は芳しくありません。そこで、今年度よりプログラムを変更しました。目玉は3つです。一つ目は、2週間のうち、まるまる1週間を当院付属の介護老人保健施設実習にあてました。介護福祉士、介護支援専門員、支援相談員などと常に行動を共にするようにしました。二つ目は、大淀地区地域包括支援センターの実習を組み入れました。三つ目は、病院がお金を稼ぐ方法である保険（レセプト）の仕組みを学ぶために、医事課実習を組み入れました。実習に来た医学生に「来て良かった」と言ってもらえるように、今後もプログラムを工夫していきたいと思っています。



▲松尾先生（一番右）とスタッフの皆様

（病院の紹介は、当院ホームページを参照してください。）



総合診療 Tips

— 総合診療にまつわる豆知識 —

第15回 「包括的なケア Comprehensive Care」

＜地域で包括的ケアを行うために必要な能力＞

今回はプライマリ・ケアの理念の一つ、包括的なケアについて。日常的な問題に対して性別や年齢、臓器にとらわれず対応することが含まれます。予防から治療、リハビリテーションまで、一人の医師が個別に実践することには限界があり、ネットワークを広げて幅広い視点からニーズに応えていくことも重要です。家庭医療の大家であるSaultz医師は、包括的なケアを行うために必要な能力として右記の9つをあげています。

①コミュニケーション、対人関係の能力
②（地域の）文化を理解する能力
③予防医学の能力
④（医師自身が）継続的に自己学習する能力
⑤システムでものごとを考える能力
⑥地域のニーズを評価する能力
⑦地域でよくある急性、慢性、行動上の問題を治療する能力
⑧まれな問題を認識できる能力
⑨医療チームを作りまとめたり調整を行ったりする能力

地域包括ケア実習がNHKニュースで放送されました。

昨年度から始まった地域包括ケア実習（クリニカル・クラークシップⅡ 地域医療臨床実習）は医学部5年後期～6年前期の学生全員必修で、宮崎県内全域での医療・保健や介護福祉の現場も丸ごと体験してもらう参加型実習です。2年目が2019年10月末から始まり、8か月の間に14～15名が宮崎県内7医療圏でばらばらに4週間ずつの実習を行い、実習最終日の金曜日に実習報告会を大学で行っています。報告会では一人ずつ実習先での実習内容などを発表し、学んだことなどを共有しています。学生の発表内容から、昨年度以上に参加型で多くの経験や学びをさせていただいている様子が分かります。

11月21日（金）の実習報告会にはNHK宮崎放送の取材が入り、11月27日（水）宮崎県版のニュース（イブニング宮崎 18:10～19:00）の中で「医学部生が見た医師不足の実態」と題して10数分間放送されました（全国版NHKニュースおはよう日本でも12月17日（火）の6時台に放送）。宮崎県北部出身の医学生が感じたこと等の内容が放送されました。また、加えて実習報告会の様子や本学としての地域医療実習の取り組みなども紹介されました。

医学生の「現状の厳しさは理解していたが、実際に地元に戻ったことでより実感できた。しっかり地域住民の役に立てるようになってから地元に戻ってきたい」というコメントは大変力強さを感じました。

当講座では「地域での教育をしっかりとやっていくことが地域医療の処方箋になる」という信念のもと、地域包括ケア実習に取り組み、学生、地域住民、行政の皆様への地域医療に対する理解促進を図っています。県内様々な地域で実習することで宮崎の地域医療に従事することの魅力や重要性を感じる学生が増えることを目指しています。今回、NHK記者の精力的な取材と現地の皆様のご協力をいただいたことで放送の機会を得ることができました。今回の取材以外の県内各地域でも同様に、学生の実習を受け入れてくださっている医療機関、行政、住民の皆様には医学生にとってもよい学びをいただいております。大変感謝しております。7月末まで医学生が実習させていただきますが、引き続き参加型の実習などご指導をよろしく願います。

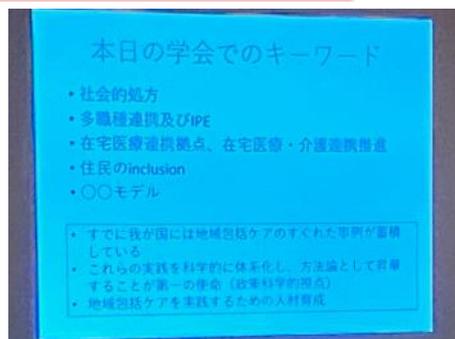


▲実習報告会と取材の様子

「日本地域包括ケア学会」シンポジストとして発表しました。

12月22日（日）、日本医師会館で日本地域包括ケア学会第1回大会が開催されました。当講座からは吉村教授がシンポジウム②「多職種連携コンピテンシーを活用した地域包括ケアシステムを支える保健医療福祉職種を対象とした教育活動」のシンポジストとして登壇しました。地域包括ケアシステムをすすめるには多職種連携能力が必要不可欠であり、この教育方略や知見を深めるにはどうすべきかについて、医師と大学教員の立場から取り組みを発表しました。

▶学会の総括として、今学会のキーワードが紹介されました。



「みやざき総合診療ウィンターセミナー」を開催します。

2月15日（土）、道の駅つもの・一の宮交流館（道の駅東側隣接）にてみやざき総合診療ウィンターセミナーを開催します。テーマは「多職種による社会的処方づくり」。興味のある方ならどなたでも参加可能ですので、ぜひご参加ください。詳細は当講座のホームページまたはFacebookをご覧ください。



講座のイベント情報

- レジデント・デイ
1/24(金) 18:00～ 場所：日南市内
- 長崎大学地域枠学生交流会
1/25(土) 16:00～ 場所：長崎大学
- みやざき総合診療ウィンターセミナー
2/15(土) 14:00～ 場所：道の駅つもの
- 第5回地域包括ケア実習指導者講習会
3/28(土) 場所：宮崎市内

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryoy@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

